

～大崎スタディ「新技術研修会」を開催しました～

管内の県事務所および市町建設課の職員を対象に、日本建設業連合会東北支部による新技術研修会を開催しました。研修では、山岳トンネル工事で用いられている最新技術の紹介に加え、将来を見据えた技術開発の取組について、丁寧かつ詳細な説明がありました。

新技術の説明では、トンネル工事における基本的な施工サイクル（装薬、発破、掘削、支保工、吹付、ロックボルト）の解説をはじめ、切羽作業における肌落ち災害を防止するため、切羽に近づかずに作業できる無人化・遠隔化技術が紹介されました。さらに、先進機械を専門に扱う工事部隊の育成や、調査・探査・解析といった技術開発の取組についても説明がありました。

研修後のアンケートでは、「有意義であった」との意見が多く寄せられました。今後も、市町職員を含めた管内研修会（大崎スタディ）を継続して開催していきます。

- 1.開催月日 令和7年12月15日（月）13時30分～15時40分まで
- 2.場 所 大崎合同庁舎 501会議室
- 3.講 師 一般社団法人日本建設業連合会東北支部 大成建設株式会社
本社土木本部土木技術部トンネル技術室 部長 友野雄士
- 4.内 容 ICT・DX技術による働き方改革
 - ・トンネル工事における最新技術の紹介
 - ・生産性の向上や技術開発の取組による導入効果
- 5.参 加 者 20名（県12名、市町8名）
- 6.アンケート意見

- ・次世代の若者が魅力に感じられるような取組であり、今後の建設業界のあり方を考える上で、非常に有意義な内容でした。
- ・作業効率や安全性がとても考えられており、とても勉強になったので、最新技術の紹介や取り組みについての説明は、とても良いと感じた。

【講義状況】



宮城県北部土木事務所 企画担当員

〒989-6117 大崎市古川旭四丁目1-1

☎0229-91-0748 FAX 0229-22-5260

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nh-dbk/>